

企業事例に学ぶ環境法 マネジメントの方法

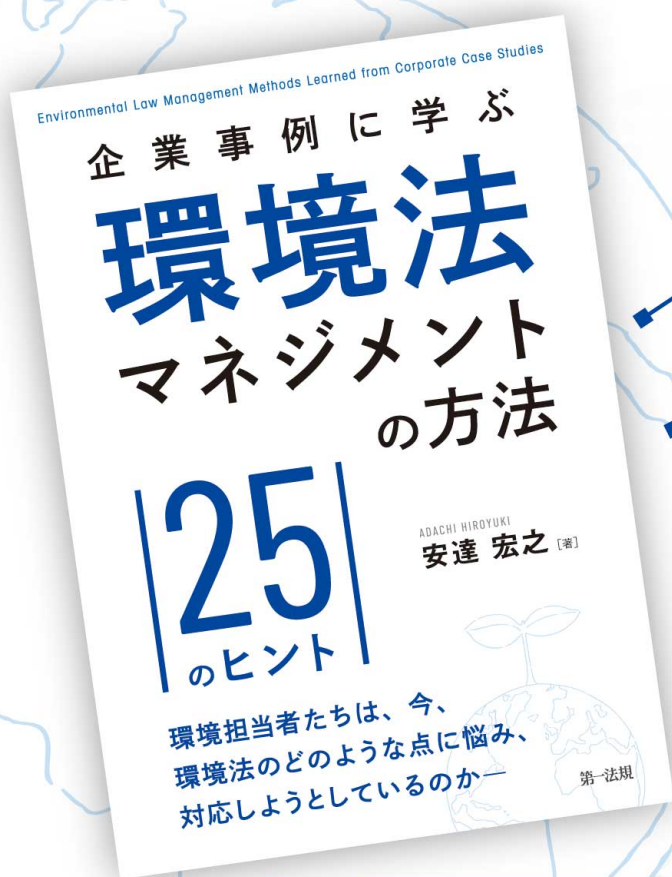
25 のヒント

環境担当者たちは、今、環境法のどのような点に悩み、
対応しようとしているのか—

安達 宏之 [著]

A5判・124頁 定価1,980円(本体:1,800円+税10%)

大栄環境ウェブサイトなどで人気連載の記事をベースに、構成を改めるとともに、
記事内容の改訂や追加により書籍化!



環境法を読み解く
ポイントを知りたい…

法規制一覧表ってどうやって
作成したらいいの…?

法改正を見逃さない
方法があれば…

現場への教育は
どうしたらいいのだろう…

トップへの報告事項を整理して
簡潔にしたいな…



明日から
使える

環境担当者が日々悩んでいる「環境法マネジメント」に
関して具体的な手法・ヒントが満載!



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<https://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

目次

第1部 環境法の読み方 ～企業担当者の目線から

- ヒント01 省略しながら法令原文を読む
- ヒント02 規制対象を見極める
- ヒント03 「直罰」の条文だけを見ない
- ヒント04 「判断基準」も義務規定として対応する
- ヒント05 届出義務を二つに分けて管理する
- ヒント06 努力義務規定は、吟味して管理対象とする
- ヒント07 条例の規制を見落とさない
- ヒント08 言葉の「定義」にこだわる
- ヒント09 法の役割分担を踏まえて管理する
- ヒント10 準用規定を読みこなす

第2部 環境法マネジメントの方法

- ヒント11 PDCAをまわす
- ヒント12 「変化」と環境法を結びつける
- ヒント13 法の「事故時の措置」は緊急事態手順とリンクさせる
- ヒント14 資格者の未選任を防ぐ
- ヒント15 「施行日」までのスケジュールを組む
- ヒント16 法改正を見逃さない方法を探す
- ヒント17 法規制の適用場面を具体的にリストアップする
- ヒント18 設備を導入するときに適用法令をチェックする
- ヒント19 現場責任者・担当者の教育機会をつくる
- ヒント20 法規制一覧表にはシンプルかつ具体的に書く
- ヒント21 法令違反を見つけたら、ポイントを押さえて行政に報告
- ヒント22 実効性をもって遵守状況をチェックする
- ヒント23 労働安全衛生法の化学物質対策に取り組む
- ヒント24 生物多様性対策に取り組む
- ヒント25 トップへの報告事項を吟味する

ヒント05

届出義務を二つに分けて管理する

事例

ある病院のEMS活動を確認していたときのことです。

1年ほど前、その病院では、施設を増やす工事があり、それに伴いボイラーの増設工事を行いました。そのボイラーは、大気汚染防止法のばい煙発生施設に該当するものであり、設置の際には届出が義務付けられていました。ところが、病院はその義務を知らずに届出漏れを起こしたそうです。

再発防止策を話し合いながら、筆者がEMS事務局作成の法規制一覧表を見てみると、次のような記述がありました。

法令名	対象施設	規制事項
大気汚染防止法	ばい煙発生施設（ボイラー）	設置・変更・廃止等の届出を行うこと

これを直ちに誤りだとは思いませんでしたが、この記述で果たして再発が防止されるのか、筆者は少し心配になりました。

解説

同じ届出義務でも届出のタイミングが異なる

この事例について、実際の大気汚染防止法の届出規定の条文を見ながら考えてみましょう。

本法第6条第1項では、「ばい煙を大気中に排出する者は、ばい煙発生施設

第2部 環境法マネジメントの方法

ヒント20

法規制一覧表にはシンプルかつ具体的に書く

事例

貨物運送業の企業の担当者とオンラインで会議をしていたときのことです。担当者から、こんな悩みを聞かれました。

「法規制一覧表の内容がわかりづらく、社内で不評なのですが、どのように改善したらよいかわからないのです……」

画面共有により、法規制一覧表を見せてもらおうと、例えば、廃棄物処理法の遵守項目の一つとして、「産業廃棄物の処理を委託する場合は、委託基準に従うこと」と書かれていました。

「ここに『委託基準』と書いてありますが、社内ではその中身について共有されていますか？」

「うーん、処理業者さんと契約書を取り交わすことだと思いますが、社内では共有されていないと思います」

解説

法規制一覧表への記述方法

自社に適用される環境法規制をまとめた法規制一覧表に対しては、上記のような悩みがよく出てきます。では、どのように解決すべきでしょうか。

次の図表では、自社に適用される環境法の規制対応の記述について、悪い記述例と良い記述例をいくつか掲げてみました。

詳細・試し読み・お申込みはコチラ
＜クレジットカードでもお支払いいただけます＞

第一法規

検索

CLICK!



キリトリ線

申込書（第一法規刊）

企業事例に学ぶ 環境法マネジメントの方法—25のヒント—

●定価1,980円（本体1,800円＋税10%） [コード092569]

*弊社宛直接お申し込みいただく場合、一回のご注文でお届け先が一箇所、お買い上げ合計金額5,000円（税込）以上のご注文は、国内配送料サービスといたします。また、お買い上げ合計金額5,000円（税込）未満のご注文については、国内配送料550円（税込）にてお届けいたします。

*消費税は申込日時の適用税率に依ります。

◎上記のとおり申し込みます。代金については、次に示す方法にて支払います。

*現在、弊社とお取引のないお客様につきましては、代金引換にてお支払いをお願い申し上げます。

（いずれかを✓で選択ください。） 代金引換により支払います。 現金到着後請求書により支払います。

*代金引換手数料について
一回あたりご購入金額
(商品の税込価格+送料)の合計が

1万円以下の場合、330円(税込)
3万円以下の場合、440円(税込)
10万円以下の場合、660円(税込)

*送料・代引手数料を含む合計金額は、商品のお届け時に配送業者にて現金でお支払いください。その際、クレジットカードはご利用いただけません。

年 月 日

〒	ご住所	部
機関名	部署名	<input type="checkbox"/> 公用 <input type="checkbox"/> 私用
フリガナ ご氏名	TEL	— —
様	E-mail	@

お客様より預かりした個人情報、納品や請求書等の発送・アフターサービス、弊社製品・サービスのご案内などの目的のために利用させていただきます。また、お客様の個人情報は、弊社ホームページに掲載のプライバシーポリシーに基づき適切に取り扱います。なお、個人情報についての照会、修正・削除・利用停止を希望される場合、その他お問い合わせにつきましては、お問合せフォーム (<https://www.daiichihoiki.co.jp/support/contact/contact.php>) がフリーダイヤルにてご連絡ください。フリーダイヤル ☎TEL.0120-203-696 ☎FAX.0120-202-974

取扱い

この申込書は、ハガキに貼るか、このままFAXで下記宛お送りください。

■宛先
〒107-8560
東京都港区南青山2-11-17
第一法規株式会社
☎FAX.0120-302-640

書店印

環境25ヒント (092569) 2023.3 SE